

広報 三重地域センター 令和5年5月号

長崎市役所 三重地域センター R5.4.19 No.26
〒851-2204 長崎市三重町 1098 番地 1
電話 095-850-1111 / FAX 095-840-1001
メールアドレス br_mie@city.nagasaki.lg.jp
業務時間 平日 8:45 ~ 17:30

三重地域センター管内人口 20,015 人 (男 9,672 人 女 10,343 人) 8,485 世帯 (令和5年3月末現在)

長崎市編入50周年記念式典が開催されました

今年、旧三重村が長崎市に編入（昭和48年3月31日）となってから50年を迎えます。2月19日、「長崎市編入50周年記念式典」が同実行委員会の主催により三重地区市民センターで開催されました。式典では、各自治会から推薦のあった地域の功労者の方々に対する感謝状授与や地元の各小中学校による記念演奏などのほか、三重地区史談会による三重地区の歴史展示が行われました。



鳴見台小学校区まちづくり協議会設立準備委員会の取り組み

同準備委員会が区域の住民の方々に広く参加を呼びかけ、第2回「鳴小校区みらいトーク」が3/12(日)に開催されました。12月の第1回みらいトークの報告が行われた後、「鳴見台小学校区まちづくり計画」について、「子育て」「生活環境」「地域振興」「防犯防災」「地域福祉」の5つの分野に分かれて現状(課題)や目指す将来像、自分たちでどんなことができるかについて互いに傾聴しながら、活発な意見が交わされました。

終了後の参加者アンケートでは、2回参加して少しずつ地域の事がわかってきた、色々な意見が出て充実した時間だったという感想や、具体的に意見交換できてよかった、地域をよくするために一人一人が意識をもって生活することが大切だと感じた、との感想が寄せられました。



準備委員会の LINE
(オープンチャット)

畝刈小学校にサクラが植樹されました

畝刈小学校創立150周年記念事業として、2/25(土)、同校敷地に150本のサクラが植樹されました。実行委員長の指方様をはじめ関係者の方々が、斜面での作業に苦心しながら、支柱を設置し木を植え付けていきました。前日の除草作業も含め、大変お疲れ様でした。この植樹には、子どもたちや地域の方々に喜んで欲しい、多くの人に畝刈小学校区の沢山の桜を見て欲しいという思いが込められています。子ども達の健やかな成長と毎年の桜が咲き誇る景色がとても楽しみです。



三重小学校区まちづくり協議会設立準備委員会の取り組み

同準備委員会が区域の住民の方々に広く参加を呼びかけ、第2回「三重小学校区話し合いの場」が3/25(土)に開催されました。1月の第1回話し合いの場でも出された三重小校区の将来像を確認し、「三重小学校区まちづくり計画」について、「地域振興」「伝統歴史」「生活環境」「子育て」「安全安心」の5つの分野に分かれて、目指す将来像や、自分たちでどんなことができるかについて、何度も時間を延長しながら活発に意見が交わされました。

終了後のアンケートでは、回を重ねるたびにコミュニティを強く感じられるようになった、といった感想や、とてもいい意見が聞けたので自分の自治会でも皆さんに報告しようと思ったといった感想が寄せられました。



「徘徊模擬訓練」が実施されました

3/4(土)三重町にて「徘徊模擬訓練(主催:長崎市三重・外海地域包括支援センター)」が実施されました。地域住民の一人ひとりが認知症への理解を深め、適切な対応と連携を図り、地域全体で認知症の方を見守る体制づくりを目指して実施されたもので、三重町の平地5自治会(東上・崎上・馬場・角上・角)の各自治会長、民生委員の方々等が参加しました。



あじさいの家の活動紹介

今年3月に三重地区公民館玄関ホールの展示コーナーにおいて、社会福祉法人長崎市手をつなぐ育成会障害福祉サービス事業所「あじさいの家」の利用者の方々が製作した「あじさいつうしん」が展示されました。

下の写真は、それらの作品製作に利用者の方々が熱心に取り組む様子を撮影させていただいたものです。



【施設からのメッセージ】

『皆さん、こんにちは。三京町にある障害福祉サービス事業所あじさいの家です。あじさいの家では毎月行事を行っています。毎年2月は三重地区公民館まつりに参加していましたが、今年もコロナの影響で公民館まつりが中止になり、代替行事を2月20日に行いました。今年のテーマは三重地区で社会生活を体験し、その様子をまとめて公民館に展示してもらい、間接的ではありますが交流の機会にするというものです。』

利用者の皆さんは、自宅とあじさいの家が中心の生活を送っています。三重地区公民館まつりは、自宅周辺以外の地域とつながる数少ない体験の場でした。この2年間は代替行事を事業所内だけで実施していましたが、今年は公民館を見に行ったり、神社へお参りに行ったり、買い物に行くなど各班が三重地区で社会生活を体験しました。それらを2月20日に皆でまとめて「あじさいつうしん」を作りました。

「皆さん、私たちのこと覚えてますか」、「私たちは元気になっています」、「また、お会いしたいです」というメッセージを込めています。来年は地域の多くの方々にお会いできることを願っています。』

●『「あじさいの家」の利用者支援について』

あじさいの家には57名の障がいのある方、特に知的障がいがある方々が多く通所されています。午前中は仕事、午後は療育活動やゲーム、クラブなどを行っています。

出来ないこともあります、工夫次第や仲間との共同作業で出来ることも多くあります。仕事では、お菓子用の爪楊枝の袋入れを行っています。袋入れや運搬等出来ることで仲間と協力し仕事に取り組んでいます。また、障害の特性から自閉症の方などは、急な出来事に驚き混乱することがあるのですが、何かをする前に事前に声をかけると混乱せずに済んだりします。一人ひとり何らかの障がい特性はありますが、一つの個性と捉えて接しています。健常者に個性があるのと同じようにですが、それが支援を必要とするという違いでしょうか。』

広報ながさき から

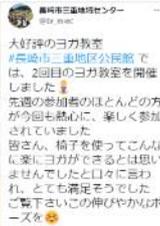
○子ども福祉医療費の助成対象が、18歳の年度末までに延長されました。

4月以降の医療費領収書を保管しておいてください！

○「お出かけ公園ナビ」で市内の公園の情報が検索できます。ぜひ、試してみてください ⇒



三重地域センターでは、地域情報をHPやツイッター、広報誌などで発信しています。



HP



Twitter



三重・外海・琴海の
食と見どころ